

TORETA 5 PRINCIPLES

自分たちをアップデートする 5 つの原則



主語は「自分」

自分が変えられるのは「自分」だけ。それは普遍的な事実だ。会社を支えるのも、事業がうまくいくかも「自分」次第。結果を全て引き受ける。トレタはそんなたくさんの「自分」の集合体だ。本気の覚悟を持つ「自分」が多いほど、トレタは成長できる。批判や許諾ではなく「自分」で動く人だけが成長できる。原点は他責でなく自責。本当にやりがいのある仕事は、自責から生まれるのだ。

DO

DON'T



主語は自分

自分から情報を取りに行く

知らないことがあったら、まず調べてみる。わからないことがあったら自分から聞く。



「私には関係ない」と決めつける

「私は聞いてない」や「私の仕事じゃないのに」という姿勢でいる。「共有されていないから」と知らないことを他責し、受け身の自分を省みない。

DO



気づいたら、自分がやる

自分が気づいた課題は、改善に向けて自ら行動し続ける。
誰かがやる、は誰もやらない。

DON'T



誰かがやるだろう、と放置する

いつも傍観者。何か課題を見つけても「他の誰かがやつ
てくれるだろう」と気づかないふりをする。

DO



当事者として改善案を実行する

どうしたらもっと良くできるか、具体的な代替案をポジティブな表現で口にし、行動に移す。批判する時間とエネルギーを、前向きに使う。

DON'T



評論家でいる

自分の目に見えている物事が全てだと思い込み「これが変だ」や「これができない」と他者を批判したり、攻撃する。誰もがみんな、限られた時間と条件の中で毎日ベストを尽くしていることを理解しようとしない。

DO

DON'T



主語は自分

常に、原因を自分の中に探す

相手の非ではなく自分の非を振り返り、素直に認める。
もし相手が他責にしたとしても同じ土俵に立たない。誰に
対しても誠実な対応を尽くす。大事なのは、自分が自分
の中にある改善点を見つけて向上し続けることだ。



周りのせいにする

「でも、だって」と言い訳を探し、周りの環境や他者の
せいにする。他責にするのは一時的に楽かもしれないが、
その先に課題解決の道もなければ、自己成長もない。

信頼を紡ぐ

トレタのサービスは長く使ってもらうほど、真価を發揮する。私たちの成功も成長も、全てはそこから生まれる。つまり私たちの事業の根幹は「信頼」だ。今、自分が起こそうとしている行動は、伝えようとしている言葉は、飲食店さま、パートナーさま、そして仲間との信頼につながるだろうか？いつも自分に問いかけよう。

DO



小さな約束も守る

約束は大小問わず、必ず守る。適宜、進捗や状況を共有しながら、再調整が必要な場合には事前に相談する。

DON'T

信頼を紡ぐ



約束をないがしろにする

小さな約束だからと、平気で破る。事前に連絡もせず、謝罪しない。これくらいはいいだろうと思うことが、相手にとっての失望につながる。

DO



常に敬意を持って接する

誰に対しても態度を変えることなく、どんな時も敬意を持って接する。誰もがそれぞれの経験と歴史をもち、等しく価値のある存在だ。

DON'T

信頼を纺ぐ



人によって態度を変える

自分の価値観で人をはかり、相手の気持ちを考えずに接する。自分より弱い立場の相手に高圧的に接したり、仲の良い人だけに親切にする。敬意のない心は、意図しなくても必ず相手には伝わっている。

DO



スピーディーに反応する

相手の問いかけにできる限り迅速に反応する。すぐに対応できない場合は、その旨を伝える。

DON'T



自分優先で、反応を後回しにする

「今、忙しいから」「すぐ回答できないから」という理由で反応しない。後回しにして、相手の仕事を止めたり、不安にさせる。

DO



期待を超え続ける

声にならない気持ちやニーズを汲み取り、自分の最善を尽くして期待を超え続ける。相手の期待を「ちょっと」上回ることから、信頼は生まれる。

DON'T



言われたことだけこなす

機械のように言われたことをこなすだけで、本質的な相手のニーズに関心を持たない。

徹底的にやり抜く

私たちは、誰も実現できなかったことを実現していく。道なき道を進む。心を奮い立たせて挑戦し、失敗し、学び、適応し、試行錯誤を続ける。大切なのは、失敗しても諦めずに挑戦し続ける「執念」だ。挑戦を讃え、失敗を愛そう。徹底的にやり抜こう。失敗は終わりなき成功への過程なのだから。

DO



挑戦を楽しむ

自分の可能性を信じて、新しい挑戦を楽しむ。不安な気持ちは挑戦している証拠。挑戦し続ける限り、私たちはいつも初心者だ。

DON'T



自分で領域を決め、限界を作る

「やったことがないから」「経験がないから」と自らボールを拾いにいかない。

DO



前例を創る

率先して最初の一步を踏む、ファーストペンギンになる。
自ら飛び込むからこそ、そこに道は拓ける。

DON'T



既存の枠にとどまる

過去のやり方、成功例だけに縛られて物事を考える。自ら新しい事を生み出そうとしない。

徹底的にやり抜く

DO



できる方法を探し、前に進み続ける

できない理由ではなく、できる方法を探す。諦めない強い気持ちこそが、成功に繋がる。

DON'T



できないと決めつけ、途中で投げ出す

課題にぶつかった時、失敗を恐れて試行錯誤しようしない。できない理由を作り、諦める。

DO



細部にこだわる

これでいいのか?と常に自問自答して取り組む。
完璧な仕事はない。完璧に近づけられるかが勝負だ。

DON'T



こだわりを持たない

「これでいいか」と全力を出さず、手を抜く。おざなりな姿勢で仕事に取り組む。

DO

DON'T



振り返り、分析する

結果に関わらず、必ず一度は振り返る。そこには、成功までの道程を照らすヒントが落ちている。

徹底的にやり抜く



振り返らず、やりっぱなし

何が良かったのか、悪かったのかを振り返らず、考えない。
同じ失敗を、何度も繰り返す。

違いを尊重する

私たちはみな、価値観も個性も違う。飲食店も同じく、多種多様だ。そして、本当の豊かさとは「多様性」であることを、私たちは知っている。だからこそ、私たちは違いを愛するチームになろう。相手の立場を尊重し、相手の正義を理解する。多様性と、そこから生まれる化学反応こそが、新しい「何か」を生み出す土壌となるのだ。

DO

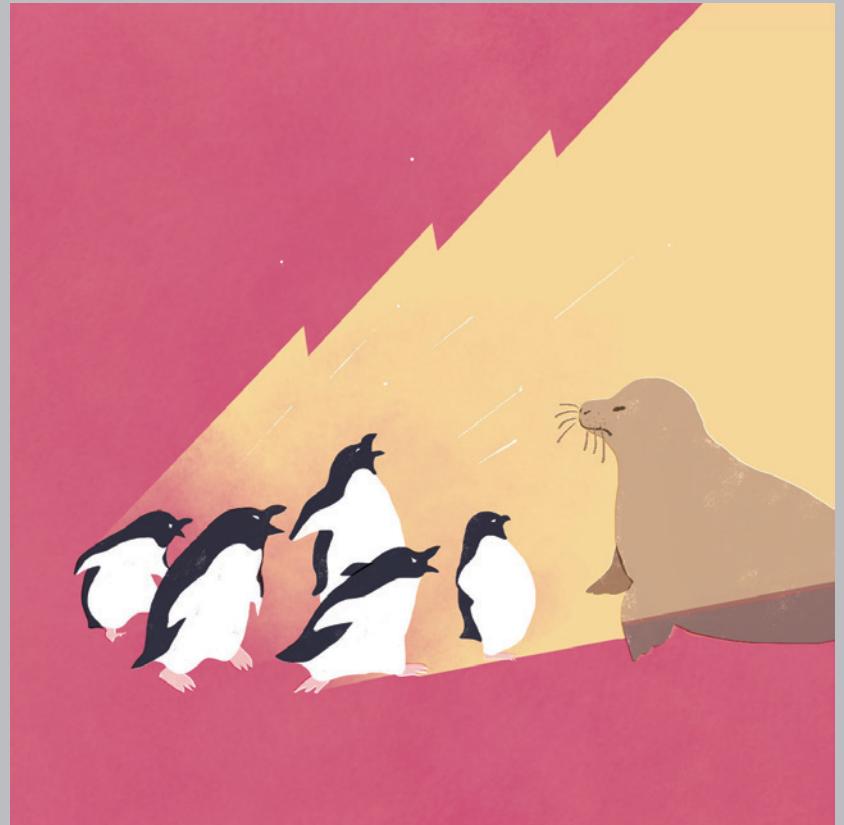
DON'T



違いを尊重する

まず、受け止める

人はそれぞれに意見をもっている。まず耳を傾け、相手の意図を汲み取る努力をする。互いに受け止める土壤があるからこそ、活発な意見交換や有意義な議論は生まれる。



聞き入れない

相手の意見に賛成できないときに頭ごなしに否定し、自分の意見を押し通そうとする。

DO

DON'T



違いを楽しむ

1人として同じ人間はいないことを理解し、それぞれの多様性を楽しむ。違いがあるからこそ互いの中に発見があり、私たちは新しい価値を生み出せる。

違いを尊重する

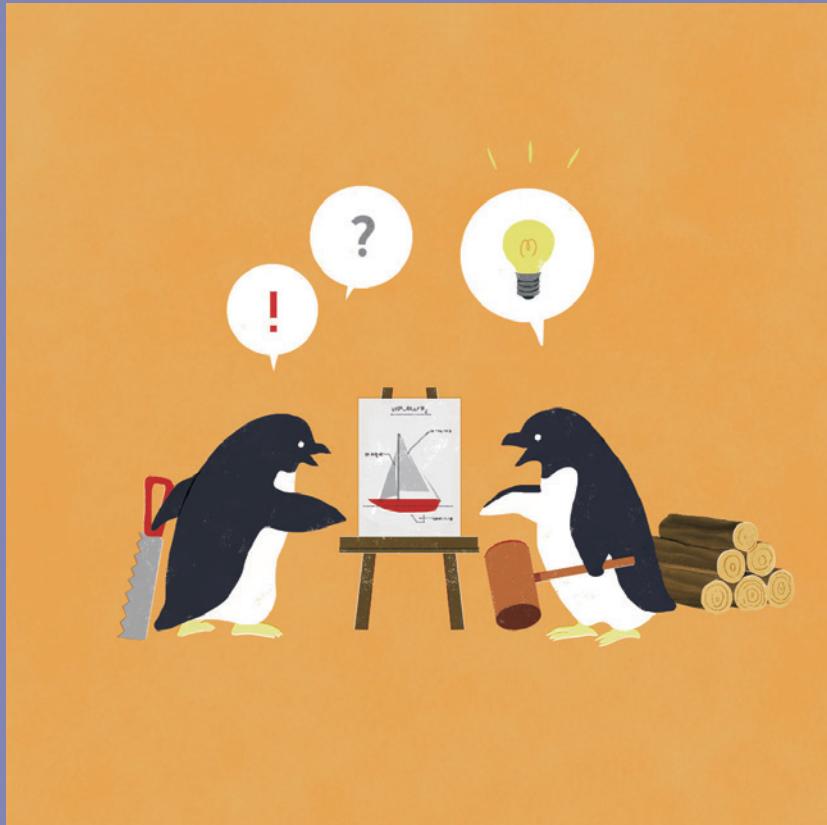


違いを排除する

相手の違いを受け入れず、否定したり無視をする。その姿勢であり続けるが故に、無意識に相手に不信感を与えてしまう。

DO

DON'T



違いを尊重する

最適解を求めるために議論する

自分の素直な意見を丁寧に伝え、前向きな議論をする。ときに意見を戦わせることになるが、それは意見の違う相手を打ち負かすためではなく、最適解を見つけることためである。



相手を打ち負かすために議論する

意見が異なる相手を打ち負かす。自分の意見や正しさを証明することがゴールになってしまふ。

DO



敬意を払う

自分と等しく、誰にでも人生の背景や考え方がある。だからこそ、相手を尊重する。人は自分の鏡。心の中にある敬意は映し出されている。

DON'T



相手を軽んじる

自分が1番正しいと考え、相手を見下す。特定の人物やその仕事に対して、前向きな改善案ではなく非難や悪口を言う。

シンプルであれ

世界はますます複雑になり、外食産業も複雑化を深めている。複雑な課題を解決するのは、シンプルさだ。だから私たちは、シンプルさを追究し続ける。飽くことなく WHY の問い合わせ重ね、課題の「本質」を掘り起こす。トレタは、複雑な課題を美しくシンプルに解決していくチームだ。

DO

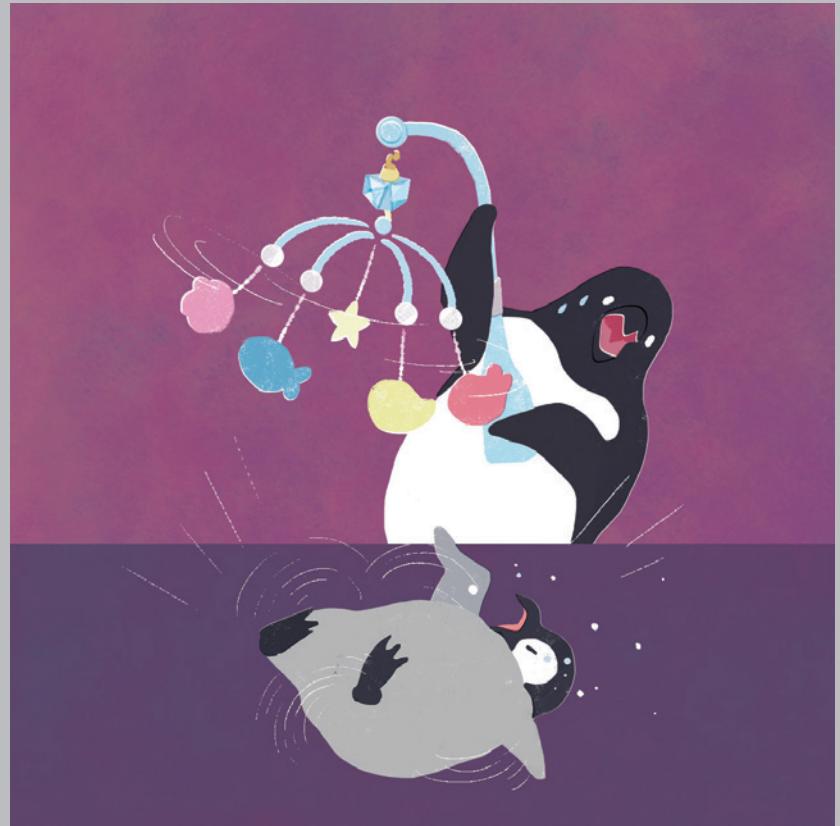
DON'T



Why から始めて、Why を繰り返す

「何故やるのか？」をまず一番に考える。自分や周囲に問い合わせ、常に立ち返りながら進む。本質を見抜いてこそ、ベストな解決方法が導き出せる。

シンプルであれ



How から始めて、How を繰り返す

「どうやるのか？」から考え始める。課題を解決するための選択肢の一つでしかないのにも関わらず、手段や方法に固執して本質を見失う。

DO



無駄を省く

事前に仮説・計画を立て、効率的な手段や方法を見つけて上りで、走り出す。より多くの課題を解決していくために、ひとつひとつ最短距離でゴールに到達する。

DON'T



やみくもに動く

「まず、やってみる」で走り出したまま、振り返らない。
撤退基準を明確にしないまま、なんとなく中止する。

DO



伝わるアウトプット

伝えたい相手の視点に立って発信する。複雑な課題の解決には、明快で的確なアウトプットが必要不可欠だ。

DON'T



自己満足なアウトプット

自分が伝えたい知識や言葉を付加しただけの複雑なアウトプットを行う。必要とされていない、誰も使わないものを作り満足して終わり。